

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 10 日現在

機関番号 34602

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～12

課題番号：22510279

研究課題名（和文） ロシアにおけるジェンダー研究—少子高齢化の視点から—

研究課題名（英文） The Gender Studies in Russia :  
declining birthrate and a growing proportion of elderly people

研究代表者

五十嵐徳子 (IGARASHI NORIKO)

天理大学・国際学部・准教授

研究者番号：80294156

研究成果の概要（和文）：

本研究では、ロシアのジェンダーの状況を明らかにするために、家事、育児、高齢者介護等のケア労働をめぐる社会関係と社会制度を中心に、ジェンダーや家族の視点から分析した。特に育児と高齢者介護に焦点を当てて現地調査をペテルブルグ、ウラジオストック、エカテリンブルグ、カザンで実施した。その結果、ジェンダーという視点から女性が育児、家事、仕事、そして介護といった4つの労働のはざまでの葛藤する現状が明らかになった。

研究成果の概要（英文）：

This study is to clarify the gender situation in Russia. For this purpose, we analyzed housework, child care, elder care. In particular, we have focused on elder care and child care. We conducted our fieldwork in Petersburg, Vladivostok, Yekaterinburg and Kazan. As a result, it is clear that women are between child care, housework, elder care and work nowadays.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2011年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2012年度	1,000,000	300,000	1,300,000
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：ジェンダー、ロシア、少子高齢化、老人介護、育児支援、家事

## 1. 研究開始当初の背景

本研究の着想に直接的なきっかけを与えた研究は、平成10～11年度科研費奨励研究(A)『脱社会主義ロシアにおけるジェンダー研究—旧ソ連との比較を通じて—』(研究代表者：五十嵐徳子)と15～18年度科研費基盤研究(C)『ロシアにおけるジェンダー研究—エスニシティの視点より—』(研究代表者：五十嵐徳子)である。これらの研究ではソ連

崩壊後の脱社会主義ロシアにおけるジェンダーの状況について意識を中心に分析を行った。その結果次の疑問が出てきた。それは、なぜロシア人女性は家事・育児・介護と仕事の二重あるいは三重負担に不満を感じないのかということである。ロシアでは、ソ連時代同様に現在でも70%以上の女性が就労しており、どの年齢層でも就業率は高く、これは既婚女性の就業率も高いことを意味して

いる。既婚女性の就業率の高さは少子化にも関係している。そのために何とか出生率をあげようとロシア政府は様々な政策をとっている。例えば母親資金のような手当がそうである。しかし、これらの策により、短期的な改善は見られても、安定した出生率の上昇は経済的・社会的支援だけでは不可能であり、規範の影響を無視することができないというのが申請者の持論である。日本では平成19年に、「ワーク・ライフ・バランス憲章」と「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定され、仕事と生活の調和が実現した社会を目指している。このような動きを牽引するのは働く女性の二重、三重負担に対する不満の声であるが、ロシアでは女性の70%以上が就労しているにも関わらず、彼女達から役割分担の固定化に対して抗議の声が上がることはほとんどない。むしろ仕事も家庭もこなすよき母親であると賞賛する社会文化がある。なぜ、ロシアの働く女性は日本の働く女性に比べて役割分担に対する不満を表面には出さないのであろうか。本課題では、この疑問に答えるべく、家事、育児、高齢者介護等のケア労働をめぐる社会関係と社会制度、そしてロシアの規範を日本と比較することによって、ジェンダーの状況を明らかにし、政策提言を行うことを目指している。

## 2. 研究の目的

本研究では、体制移行期を経て新段階にあるロシアのジェンダーの状況を明らかにすることを目的としている。具体的には、家事、育児、高齢者介護等のケア労働をめぐる社会関係と社会制度を日本と比較することによって、ジェンダーや家族の視点から分析する。特に、ケア労働の担い手、それをサポートする地域社会や地方行政、国家の家族・福祉政策について、また規範がジェンダーにどのような影響を与えているかについて検討する。より具体的には、①出産・育児支援システムを明らかにすること、②老人介護、高齢者就業、老齢年金の現状の把握、③①及び②とロシアの規範との相互関係を探る、④日本との比較によりロシアのジェンダー政策を中心とした社会政策を提言することを目指している。

## 3. 研究の方法

本研究では、①ロシアにおける出産・育児支援システムを明らかにすること、②ロシアの老人介護、高齢者就業、老齢年金の現状の把握、③①、②とロシアの規範との相互関係を探る、④日本との比較によりロシアのジェンダー政策を中心とした社会政策を提言することを目指している。研究方法としては、文献資料から①、②について実態把握するために事実関係を明らかにする。実態を明ら

かにするためにロシアの社会政策を担当している省庁、雇用センター、幼稚園・保育園、学校、移民局、家族・老人・貧困を支援するNGO団体、さまざまな階層に属するロシア人への聞き取り調査を、モスクワ、ペテルブルグといった大都市のみではなく地方都市でも行う。最終的にはこれらのことを総合し、問題点を明らかにした上で日本におけるそれと比較しロシアにおけるジェンダーに関する社会政策を提起する。

## 4. 研究成果

本研究では、体制移行期を経て新段階にあるロシアのジェンダーの状況を明らかにするために、家事、育児、高齢者介護等のケア労働をめぐる社会関係と社会制度を中心に、ジェンダーや家族の視点から分析した。特に、ケア労働の担い手、それをサポートする地域社会や地方行政、国家の家族・福祉政策、換言すれば育児支援と老人介護の現状解明のために、ロシアのエカテリンブルグ、ペテルブルグの幼稚園、ペテルブルグの公立、私立学校、個人への子育てに関するインタビュー、ペテルブルグ市の社会政策委員会、ペテルブルグ元市議会議員、ペテルブルグ高齢者ホームレス支援団体、レーニングラード州民間ロシア正教老人ホーム、ウラジオストック社会政策委員会、ウラジオストック市老人ホーム、ウラジオストック女性同盟、カザン市住民サービスセンター、カザン市郊外のヴェルフニー・ウスロン地区老人ホーム、身内の介護にたずさわっていた人、あるいは現在たずさわっている人へのインタビュー調査、さらに介護に関する意識調査の予備アンケート調査もペテルブルグ、ウラジオストック、カザンで実施した。

調査の結果、育児支援では、問題点として、①2歳児まで子供を預ける施設が少なく、②男性は勤務時間が長いこと、子育ては母親と祖母の仕事である事が多く、③就学前システムは手厚いが、学童保育が貧弱であるということが明らかになった。

老人介護問題では、ロシアの状況は日本の介護保険前夜であり、平均寿命が短く、寝たきり年数が短いことが老人介護の状況へのブレーキになっている可能性があり、さらに、介護は家族でという規範、嫁役割はないが、娘の役割が大きいことが分かった。

ジェンダーという視点から女性の育児、家事、仕事、そして介護といった4つの労働のはざまに葛藤する現状が明らかになった。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計7件)

- ① 五十嵐徳子 (共著) 「タジク女性の声ー  
タジキスタンミクロサーベイよりー」『ロシア  
・ユーラシアの経済と社会』第965号 査  
読有 2013 2-25
- ② 五十嵐徳子 (単著) 「旧ソ連諸国のジェ  
ンダーの状況ーソ連時代からの遺産とその  
功罪ー」『ユーラシア世界』2012 査読有  
127-153 東京大学出版会
- ③ 五十嵐徳子 (単著) 「ロシア・ソ連体制  
の光と影 - ジェンダー - 」『朝倉世界地理講  
座第5巻中央アジア』2012 査読有  
226-234 朝倉書店
- ④ 五十嵐徳子 (単著) 「人口問題から見た  
ジェンダー」『ユーラシア研究』ユーラシア  
研究所, 2010 査読有 39-44.
- ⑤ IGARSHI Noriko Г о л о с а ж е н  
ш и н : г е н д е р н ы е и с с л е д  
о в а н и е в Т а ж и к и с т а н е  
(Women's Voices: Gender Survey in  
Tajikistan) (共著) // М и г р а ц и о н  
н ы й м о с т м е ж д у Ц е н т р а  
л ь н о й А з и е й и Р о с с и е й  
(Migration Bridge between the Central Asia  
and Russia), М о с к в а , Э к о н - и н  
ф о р м с т р Р я з а н ц е в , С . В .  
и К а р и м о в , О . К . р е д . 2011  
査読無 222-230

〔学会発表〕(計5件)

- ① IGARSHI Noriko В л и я н и е  
м и г р а ц и и н а и з м е н е н  
и е г е н д е р н о й с и т у а ц  
и в р е с п у б л и к а х б ы  
в ш е г о С С С Р 単独発表  
International Symposium “Migratory  
Bridges in Eurasia” (ロシア科学アカデ  
ミー社会政治研究所主催) 2012年11月7  
日
- ② Noriko Igarashi Women's Voices:  
Gender Survey in Tajikistan  
(co-authored with Kazuhiro Kumon) 共  
同 Association for Slavic, East  
European and Eurasian Studies, Omni  
Hotel Washington DC, US 2011年11月  
20日
- ③ 五十嵐徳子 「タジキスタンのジェンダ  
ー状況ータジク女性の声」 2011年 単  
独 比較経済体制学会第25回春季大会  
(神戸大学) 2011年6月5日

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

○取得状況(計0件)

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

五十嵐 徳子 (IGARASHI NORIKO)

天理大学・国際学部・准教授

研究者番号: 80294156